

ハザードマップについて

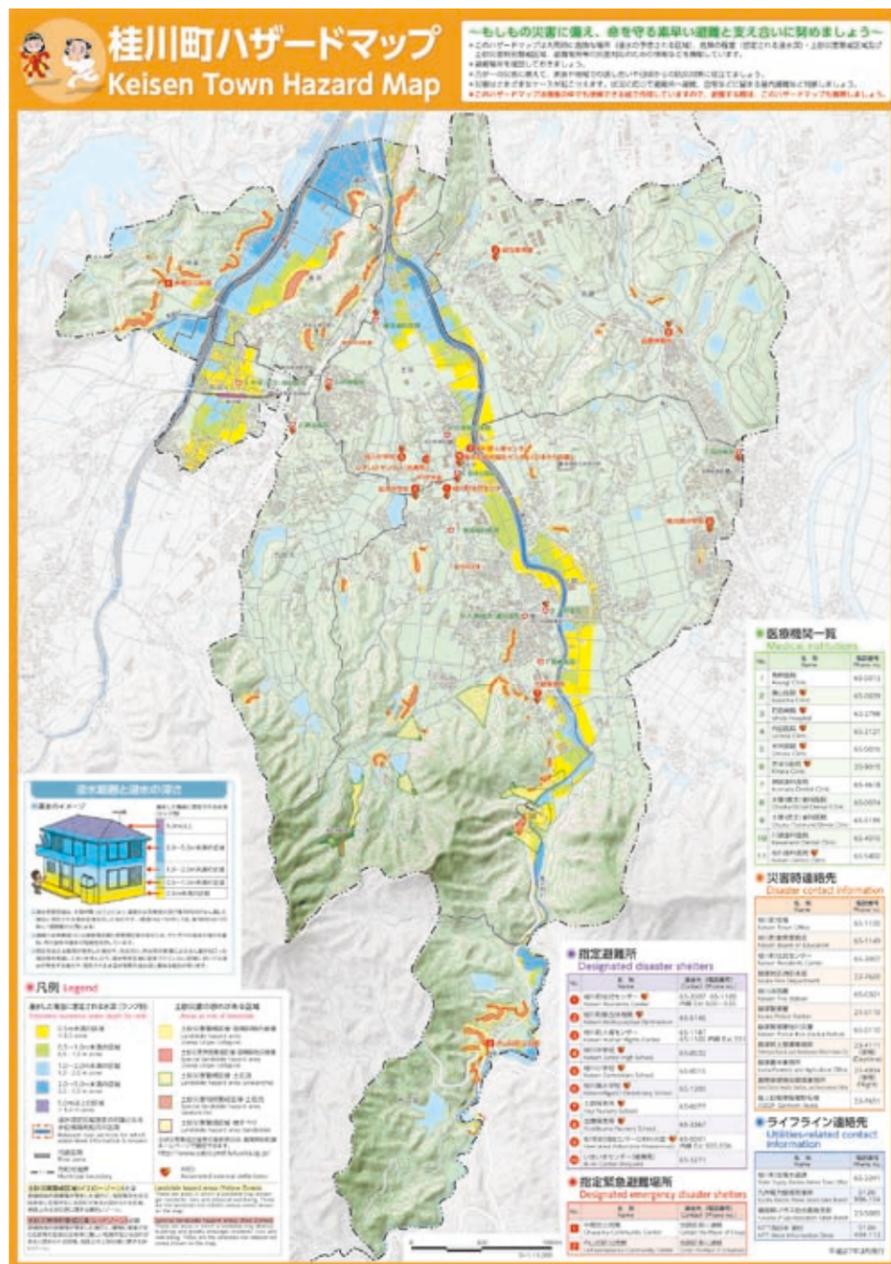
ハザードマップは、洪水・土砂災害の危険性があるところを住民の皆さまに日頃から起こりそうな場所等を把握していただき、自ら危険を感じたらすばやく安全に避難できることを主な目的に、被害の拡大範囲及び被害程度、さらに、避難場所等の情報を地図上に図示したものです。

いざという時に備え、ハザードマップをご確認の上、日頃から避難所や避難場所、避難時の心得をご家族の皆さんや地域の皆さんで話し合ひましょう。

また避難の際にハザードマップを携帯できるように雨風の中でも使用できる紙を使用しております。

※浸水想定はあくまでも目安となります。実際には、雨の降り方や土地の形状、道路や下水道の状況などにより、ハザードマップの想定のとおり浸水するとは限りません。また、想定区域に指定されていない場所でも浸水する可能性がありますので、大雨等の時には現地の状況によって、早めに避難いただきますようお願いいたします。

※土砂災害警戒区域等とは、『土砂災害防止法』に基づいて指定された、土砂災害警戒区域（イエローゾーン）及び土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）のことを示します。土砂災害警戒区域（イエローゾーン）は、土砂災害のおそれがある区域のことです。また、土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）は土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域のことを言います。土砂災害を未然に防ぐためには、住まいや働く場所のまわりの土砂災害の危険性のある区域を知り、あらかじめ土砂災害に対する備えを考えておくことは大変重要です。



平常時はこのポケットに
ハザードマップを保管しておきましょう



古代くん・未来ちゃん

桂川町ハザードマップ
避難するときは、一緒に持ち出しましょう